

## 第258回 番組審議会

1. 日 時 平成29年1月17日（火）12:00～
2. 場 所 メトロポリタン盛岡NEW WING 3F「星雲 東の間」
3. 委 員 委員総数 9名  
出席委員数 9名（欠席委員数 0名）

### ○ 出席委員（敬称略）

鈴木 厚人（委員長）  
九萬原 敏巳（副委員長）

—以下50音順—

石田 征広  
加藤 裕一  
久慈 浩介  
菅原 正二  
升田 久美子  
八木橋 伸之  
役重 真喜子

### ○ 会社側出席者（7名）

小原 忍 （取締役副社長）  
藤原 銀司 （常務取締役）  
前田 秀男 （取締役技術局長）  
工藤 浩 （取締役東京支社長）  
高嶋 昇 （取締役営業編成局長）  
青田 優 （編成部長）  
坂野 敬 （めんこいエンタープライズ制作部長）

### ○ 事務局 佐々木 久仁子

4. 議題 『山・海・漬 放送20周年記念スペシャル  
全国に羽ばたく メードイン岩手』

平成28年10月14日（金）19:00～19:55

5. 議事概要

今回は、10月14日放送の「山・海・漬 放送20周年記念スペシャル 全国に羽ばたく メードイン岩手」を審議しました。議事の概要は以下の通りです。

●岩手めんこいテレビ編成部長 青田プロデューサーからの説明

・「山・海・漬」は1996年10月14日にスタートし、ちょうど20年目の10月14日午後7時から「20周年スペシャル」を放送した。2016年度の1月までの最高視聴率は11月19日放送の第871回「旬のフルコースを召し上がり in 盛岡」で17.3%、最低視聴率は8月13日の第859回「盛岡めんこいかいわい 食べ歩きMAP」の7.2%。この日は、裏でプロ野球オールスター戦があり花巻東高校出身の大谷翔平選手が163キロを出した日だった。年度の平均視聴率は13.1%と変わらず高い視聴率で支持を頂いている。

・「山・海・漬」イコールグルメという印象が強いが、地元発見を意識し視聴者の期待に応えたいと思い北海道新幹線開業時には「北海道・函館で見つけた岩手」を切り口に番組ブランディングにも繋げている。またアナウンサーを積極的にキャスティングしてめんこいテレビの顔として定着させたいと考えている。「山・海・漬」を通じて視聴者により良い地域の情報を発信していきたい。

●めんこいエンタープライズ制作部長 坂野ディレクターからの説明

・今回の番組を制作するにあたり参考にしたのは、番組に寄せられた視聴者からの葉書。「北海道・函館で見つけた岩手」の回には「岩手と函館の関わりが初めて分かった」「つながりや関わりが分ることで函館が身近に感じた」といった意見が多く寄せられた。

・単に岩手出身ということだけではなく岩手で専門的な知識を学び県外で活躍している人、また、岩手で生まれ作られ県外で活用されている物に絞った。さらに新渡

戸稲造のような偉人やトヨタ自動車、セイコーなどのナショナルブランドではなくあまり知られていない人、物に焦点をあて釜石市出身の内航船員、スプリンクラー、製麺機、南部杜氏の4件を取り上げた。

●出席した委員からの意見

- ・国立海上技術短期大学の学生の数やそこから船長になれる人の割合、船員の数、船の総トン数などの情報がなかった。また、南部杜氏が作るお酒の特徴なども出ていなかった。テロップでもいいので補えばよかった。
- ・その都度工夫して20年続いたことを評価したい。
- ・めんこいテレビの柱になっている番組。大いに期待する。いろんなことを取り入れて、いろいろ取り上げて自由にやってほしい。
- ・6畳個室の甲板員の部屋の様子や船倉の掃除など普段見られないところを見られて非常に面白かった。
- ・市場の食堂の勝手井を紹介するより、もっと船のことを取り上げてほしかった。
- ・お酒の話で、タンクが20個、一升瓶で20万本というのは、どの位の規模の酒蔵なのか良く分らなかった。
- ・スプリンクラーの会社は、一関のどの辺にあるのか、いつ進出したのか等の情報もあれば丁寧だった。
- ・製麺機の紹介ではあったが、どこの蕎麦粉を使用しているかが出ていればよかった。
- ・南部杜氏は1年をどのように生活しているのか見えない。静岡まで行って取材したのは分るが、それがあれば良かった。又、なぜ南部杜氏のいないこの時期を取り上げたのか、根本的なことが気になった。

・「山・海・漬」というとグルメ情報を期待しているので、「メイドイン岩手」の紹介の他にその土地の食リポもあって期待を裏切らない内容だった。

・ナレーターの小野寺瑞穂さんが大好き。小野寺さん自身も岩手の活躍を喜んで自然に出てきた言葉なのかと思わせるところも良かった。

・岩手をもう一度見つめ直すいい機会だった。

・岩手の方は世界中にいて活躍している。「世界で活躍するメイドイン岩手」ということで取り上げてもらえるありがたい。

・取り上げた題材がすごく面白い。選択に苦労しただけのことはあると思った。

・「メイドイン岩手」の方はもちろん素晴らしいが、どのような位置付けの素晴らしさなのかが情報不足だった。

・「メイドイン岩手」を通して見えてくる物の特徴、岩手県人の気質や工夫、丁寧さ、あるいは岩手の風土みたいなものが、取り上げた4つの中から透けて見えてくると更に良かったのではないかな。

・「20周年記念番組」とした時に、切り口を含めてテーマの通し方がこれで良かったのかと感じた。スプリンクラーについても技術力の高さではなく高い場所で使われていることを強調していたのが気になった。

・リポーターのアナウンサー3名は個性があってそれぞれの味を出していて好感が持てた。

・南部杜氏が全国にどれ位いるのか地図を出すとか、スプリンクラーがどれ位使われているかを出すとか「確かにメイドインだ」という全体的な広がりを感じられるが、何となく番組として水増しを感じた。

## 6. 審議機関の答申又は改善意見に対してとった措置

特になし

7. 審議機関の答申意見概要を公表した場合におけるその公表内容、方法及び年月日

※平成29年1月18日（水） 産経新聞 東北版

※平成29年1月28日（土）午前4時12分から4時15分まで  
「めんこいテレビ番審リポート」として放送

※据え置き書類を作成し、本社受付に置き一般の人々が自由に閲覧できるようにした

8. その他の参考事項

特になし

※次回は、平成29年2月14日（火）12時より 当会場にて開催予定です。